

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)
第1回全体会合 議事録

日時：2020年10月2日（金）14:00-15:30

場所：オンライン

1. 事務局より、法人化、事業計画、メンバーシップ制度について説明

[アジェンダ](#)参照

2. 質疑応答

- ミッション「あらゆる組織の～」は、「全ての組織の」という意味ではなく、「あらゆる種類の組織の」という理解でよいか。

事務局より：

その様に認識していただいて良い。ただし、SIMIとしてはどんな組織においても、その組織に合ったかたちで社会的インパクト・マネジメントを行っていく必要があるのではないか、とも考えている。

3. ブレイク・アウトルーム（BR）での話し合いの共有

● BR1

メンバーシップについてだが、企業にとっては形式的な会員というかたちでなく、サービスをうけることができる有料会員となるのが一般的ではないか。

● BR2

事業者の立場としては、インパクトを測るツールへのニーズはあるのではないか。ITなども活用し、そういったツールの普及は望まれる。NPOの現場でまずはインパクト評価から実施していこうという段階にあると思う。

● BR3

- 全体会合の開催は今後もあるのか。無料メンバーにはどこまで活動に関わることができるのか。活動はどこまで外部に開かれたかたちで行われるのか。
- 先ほど事務局から発言があった、「SIMIとしてはどんな組織においても、その組織に合ったかたちで社会的インパクト・マネジメントを行っていく必要があるのではないかと考えている。」という点は、社会的インパクト・マネジメントの実践ガイドラインなどに入れるべきはなし。SIMIとしてはこれを大きく打ち出していくべき。
- SIMIは専門的な組織として社会にまだまだ認識されていないのではないか。社会的インパクト・マネジメントを促進させる唯一無二の団体であるので、その存在意義を高めた活動をしていくべき。
- 組織運営を会費だけまかなっていくのは難しい。人材育成などは時間がかかるので開発資金を企業協賛で集めるなど財政基盤の重層化が必要ではないか。

事務局より：

- 全体会合は今後も開催する予定である。
- メンバー（無料・有料）のWGなど活動への参加範囲については検討中なため、追ってお知らせする。

- BR4
 - インパクト・マネジメントの各セクターでの広がりについては話が上がった。営利企業では言葉自体があまり広がっていない印象がある。非営利では休眠預金の影響もあり、言葉への認知度は高まっている印象である。
 - SDGsへの取り組みを通して今後、インパクト・マネジメントの普及があり得るのではないか。
 - 自社の事例をSIMIの中で発表していくといった機会を増やして欲しい。

- BR 5
 - これまでは、SIIFはSIMIの活動を全面的にサポートしてきたが、今後は連携先として独立した組織間の成熟した関係を作って行きたい。各々の良いところを持ち寄ってシナジーを作っていきたい。
 - 認証制度について、期待している。

以上